

山形県スポーツ少年団

平成4年1月25日発行

No. 7

大空に翔る

発行
(財)山形県体育協会
山形県スポーツ少年団
山形市松波2-8-1
☎(0236)30-2891
印刷 桜大風印刷



ファイトイング、スピリット

デモンストレーションとしてのスポーツ行事

「少年スポーツ大会」開催の意義について

山形県国体局競技式典課

主査 榎 本 慎 一

県政史上最大のイベントであるべにばな国体の開催まで、地の希望により実施できるよ
あとわずかと迫ってまいりうになつたものです。

ました。先に開催された第四べにばな国体では、これを受けて綱引・グラウンドゴルフなど九つの行事を実施することになり、少年スポーツ大会もこの一つとして実施されるわけです。

そこで、少年スポーツ大会が開催されるに至つた意義を考えてみますと、第一に他県に例を見ない、スポーツ少年団員のための総合体育大会形式の交流大会が開催されていること。第二に、スポーツ少年団への加入率が全国トップレベルにあり、その活動についても優れた実践活動を展開

さて、国体では、正式・公開競技のほかに、開催県民の方々が参加できる「デモンストレーションとしてのスポーツ行事」が実施されることは、ご承知のことと思います。これは、国民各層により開かれた国体とするために、



少年スポーツ大会

1 期 日 平成4年9月6日(日)

2 実施競技及び会場

競 技 名	会 場
1 柔 道	山形県総合運動公園総合体育館
2 剣 道	山形県総合運動公園総合体育館
3 ミニ バスケットボール	天童市立第一中学校 天童市立第二中学校 天童市立第三中学校 天童市立第四中学校
4 サ ッ カ ー	山形県総合運動公園サブグラウンド 山形県総合運動公園広場 天童市スポーツセンター多目的運動広場
5 軟 式 野 球	天童市立第二中学校 山形県立天童高等学校
6 バレーボール	天童市立長岡小学校 天童市立高掬小学校 天童市立津山小学校 天童市立天童北部小学校
7 卓 球	天童市スポーツセンター体育館
8 バドミントン	山形県立天童高等学校
9 ソフトボール	天童市スポーツセンター老野森運動広場 天童市立天童中部小学校
10 軟 式 庭 球	天童市スポーツセンターテニスコート
11 陸 上 競 技	山形県総合運動公園陸上競技場
12 体 操	山形県総合運動公園総合体育館
13 空 手 道	山形県総合運動公園総合体育館
14 レスリング	天童市スポーツセンター体育館
15 相 撲	天童市立津山小学校相撲場

していること。等々すばらしい諸条件が整備されており、官民一体となって、少年期のスポーツの振興に取り組んだ。情熱と、県内スポーツ関係者の開催に向けた強い熱意が、あつたからです。平成四年九月六日(日)に開催される第四十七回国民体育



少年少女スポーツ交流大会に参加して



山形市
クローバーミニバスケット

渡辺 洋一郎

少年少女スポーツ交流大会はクローバーにとって毎年大きな目標の一つです。だからこそ出場し優秀な成績を残せる様努力してきています。私達指導者も県内の競技力を見極め自分達に今何が必要かを問い、つぎのステップの足掛かりにしており、子供達も交流を深め、バスケットメイトもたくさんできています。大会の豊かな発展を期待します。



三川町
空手道スポーツ少年団 六年

梅津 麻帆

小学生型の部に出場しました。数々の大会に出ても全身に伝わる緊張感は絶えないものです。この大会の時もそうでした。予選を終えて決勝に進みましたが、あまりの緊張でやる型さえも忘れてしまいました。そうになりましたが、くいのない型になりました。決勝が終わり、成績発表でもうだめかと思つた最後に私の名前が上がりました。六位でした。その瞬間私の緊張感がなくなつたように感じました。そのかわり、うれしさが心にこみ上げてきました。また、いつも顔なじみの友達と試合ができてとてもうれしかったです。

少年スポーツ行事競技別参加人数

競技名	種別	エントリー数	参加チーム数	参加者合計
柔道	男子	8	32	328
	女子	6	12	
剣道	男子	8	48	576
	女子	8	24	
ミニバスケットボール	男子	17	16	544
	女子	17	16	
サッカー	男子	17	20	340
軟式野球	男子	23	16	368
バレーボール	男子	15	12	480
	女子	15	20	
卓球	男子	12	16	384
	女子	12	16	
バドミントン	男女	11	20	220
ソフトボール	男子	15	8	240
	女子	15	8	
軟式庭球	男女	2	50	100
陸上競技	男女			740
体操	男女			100
空手道	男女			200
レスリング	男女			50
相撲	男子			200
参加者合計				4,870

大会夏季大会デモンストレーションとしてのスポーツ行事「少年スポーツ大会」は、半世紀に一度のスポーツの祭典です。

このスポーツの祭典であるべにばな国体に、全国各地より国内の一流競技者が数多く集い、新装なった山形県総合運動公園各施設で一流の技を競い合います。この同じ会場で、子どもたちに思う存分自らの技を競い合ってほしいと願っているところです。

また、参加した子どもたちにとつては、国体を身近に感じられる絶好の機会であり、将来の国体選手を夢見て、ますますスポーツに親しみを覚え、新たな意欲と情熱を燃やすものと思います。さらに、同じスポーツに情熱を傾ける多くの仲間との汗と涙の感動と出会いを通して、スポーツの素晴らしさをあらためて発見するものと思います。

スポーツは、人間だけがもつ文化の一つです。清く正しく美しいフェアプレーの精神をもち、スポーツを愛する二十一世紀の主役たちが、一人でも多く巣立つことを願い、かつ開催に向けた諸準備について、関係機関の多くの方々からのご尽力をお願いする所です。

いよいよ決勝です。相手は山寺。私たちより背が高く、強そうなチームでした。私たちは、今まで練習したプレーを精一杯やるしかないと思っ

てがんばりました。その結果みごと優勝。自分たちのプレーができ、うれしかったです。



金山町
金山スポーツ少年団 六年
鈴木由衣

今年、スポ少では郡大会で優勝し、県大会に出場しました。決勝戦では、みんな必死で戦って、勝ちました。ほくは、その優勝した時、ほくは練習のことが頭の中になりました。あの苦しい練習をしてよかったですと思いました。



小国町
沖庭スポーツ少年団
河内一茂

スポーツ交流大会に参加してとても良かったです。初めての参加で、ゆうしゅうもできたし、来年もいっ

しょうけんめい練習して、またこの大会で、良いせいせきがとれるようがんばりたいと思います。



酒田市
スワニー体操スポ少 四年
渡部真琴



▲初めてのカヌー、なかなか思うようにいかない。



いろいろスポーツに

挑戦しよう!!



▲ダブルスは二人のコンビが大切



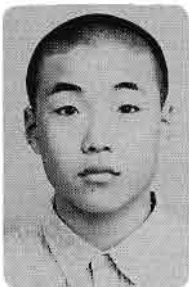
▲仲間の声援を背中にいっぱい受けてガンバル

去年は、優勝できなかった
ので、今年は、絶対勝ちたい
と思っていました。試合が始
まってからは、正確に一本づ
つ取っていきこうと、言い聞か
せていました。そして優勝が
決まった時は、うれしく、又
とてもいい気持ちになりました。



天童市
天童市バドミントン
スポーツ少年団 六年
土屋 昌子

今年、四年生と混成の
チームでここまでこれるとは
思っていませんでした。二年
連続して決勝まで進み、あと
一歩のところ、山形市の
チームに負けてしまいました
が、県内の強豪チームと対戦
できたい思いになりました。



村山市
西郷剣道スポーツ少年団
工藤 和典

平成二年度山形県少年少女
スポーツ交流大会に参加して
とても良かったです。初めは
三位を目標にしていました。
代表決定戦をしたり苦しいこ
とがありました。そのがんば
りが通じたのか、決勝戦まで
行きました。



山辺町
山辺女子柔道 六年
吉田 友美



今年もいろいろな交流がありました。みなさんも積極的に参加しましょうね。

交流 友好



▲ホイゼンシュタム市庁舎前の庭で。全体研修（前半）時に、市内見学をした時のもの。奥に見える建物が市庁舎。

文化様式をそのまま受け継い
ドイツ人は大戦後、従来の生活
言葉が耳から離れない。「ド
如実に感じた。今、彼が言っ
る考え方、日本人との違いを
余暇スポーツが中心である。
みんな自由意志で地域のス
スポーツクラブに所属している。
社会制度や価値観で日本とは

ではないだろうか。
毎晩、受け入れ責任者と翌
日のプログラムの打ち合わせ
をしながら、いろんなことを
学んだ気がする。ドイツ人の
こういった交流事業に対する
考え方、社会や労働に対する
考え方、ひいては人生に対す
る考え方、日本人との違いを
余暇スポーツが中心である。
みんな自由意志で地域のス
スポーツクラブに所属している。
社会制度や価値観で日本とは

東西ドイツ統一の二カ月前
に西ドイツに行けた事は貴重
な体験である。木崎慎吾、酒
井賀世の両名と共に宮城県、
福島県からの派遣団員と一
ループを構成して、交流活動
を行ってきました。
私達のグループの受け入れ
はヘッセン州水泳連盟だった。
地方プログラム中ずつと西独

日独スポーツ少年団
同時交流に参加して
寒河江中部小やまぼうしスポーツ少年団
指導者 遠藤啓一



▲フランクフルト市内
前方奥に見える塔は、修理
中だった。日本の材料(食料品)を売る
スーパーで、買い物をして
帰る途中。

の方々とも同じ宿舎だっただ
けに、日独双方の人間の良い
面も嫌な面も見た。西独の文
化生活様式だけでなく、我々
日本人をも再認識する旅だっ
たと思う。民泊になった時、
結局は「客」として歓迎され
たことを思うと、裸のドイツ
人を垣間見る機会をもてたの
ではないだろうか。
社会教育施設や社会福祉施
設も見学した。西独では学校
が午前中で終わるため、午後
の時間子供達を預かる施設が
大切なのであろう。子供達を
健全に育成する、しかも地域
社会で責任をもって。そこに
は大人の考え方も子供達
に沿った考え方が重要視され
ていた。この考え方が、スポ
ーツ連盟やスポーツクラブの子
供達へのプログラムにも反映
され、徹底されていた。

余暇スポーツが中心である。
みんな自由意志で地域のス
スポーツクラブに所属している。
社会制度や価値観で日本とは



▲ベッツラーという町にあるヘッセン州のスポーツユエグント(スポーツ少年団)の宿舎(合宿所か自然の家みたいなもの)で、日本団員が、フランクフルトの日本料理店(食料品店)で買いこんだ材料で、牛どんと豚汁、ほうれん草のおひたしを作って、独側団員と会食する。長井から行った木崎君が、わりばしの使い方を教えている。



▲フランクフルト市内見学の際に、団長団と合流した。川はフランクフルトを2分するマイン川、川辺は公園や散策路になっている。背景の建物の様式が、左右異なる。右側が戦後、左側が戦前のもの。

全員女子ということなので計画に当たって①余裕のある日程②儀礼的行事を極力少なくする③宿泊家庭とのふれあいを多くもつ④同年代の女子高校生を世話役につける等を留意しました。行事の主たるものとして相互の理解を深めるための同年代層の意見交換会と柔道の同時練習会をメインにし、地域風土の紹介に吾妻登山や上杉記念館見学、それにスポーツ体験としてのグラススキー、水泳飛び込み等の実施を盛り込んでみました。また、地域スポ少指導者や関係者を含めたランチパーティーやお別れパーティーを

異なるけれど、西独では生活の一部の重要なものとして余暇を考え、余暇の過ごし方としてスポーツがかなり高い意味を持つているのである。ここに我々が学ぶべき多くのことがあると思うのです。我々を受け入れてくれた方々は自分の休暇中にもかかわらず、みんな一生懸命だった。たった三週間で西独の文化や生活様式を理解することは出来ない事であるが、今回

西独で見聞したと感してきたことを、今後の生活や、スポーツ少年団との関わりの中に活かすことが彼等への最大のお礼であると考えている。受け入れてくれたメンバーのうち何人かは今年の同時交流で日本に来ると言う。その時が楽しみである。貴重な体験の機会を与えてくれた県スポ少年部をはじめとする関係各位に深く感謝申し上げます。

日独スポーツ少年団 同時交流受入れについて

米沢市スポーツ少年団

本部長 鮎川喜八郎

開いて心の打ち解けを図りました。実施に当たっては事務局本部を市内旅館に設置し二四時間体制で緊急事態に備えましたが、格別なこともなく過ごすことができました。地元女子校生とのデイスカッションは活発に行われ、日独の学校生活が随分違い、彼女等の余裕ある過ごし方、練習時間の取り方に驚愕しました。話し合い時の行儀作法は不満足なものがありません

▲最終日、参加者全員ゆかたを着てお別れパーティー



が、一人ひとりの考えがしっかりして判断力に優れているように見受けられました。

団長さんは自主性を大切にしたい西ドイツと強力な強化システムを持つ東ドイツの良さを合わせ持つことに期待を寄せられていました。彼女らの持っている自主的練習態度と柔道選手でありながら一〇級の飛び込みを平気でこなし、初めてのグラススキーに挑戦する積極さに敬服し管理指導の強い我が方のあり方を考えさせられました。

宿泊を引き受けられた家庭では、大変好感を持たれ、機会があればまた泊めたいとの話があり安堵しました。

計画遂行に当っては交渉や細密な計画、物品の調達準備等に教育事務所、市体育課、管内市町の担当職員の方々に大変な努力をして頂きました。感謝申し上げます。

べにばな国体も目前に迫る中でスポーツ少年団の今後の歩み方に大きな示唆を与えてくれた日独交流は意義深いものであったことを感謝を込めて報告します。

全国スポーツ少年大会に

参加して

寒河江中部小やまぼうしスポーツ少年団

リーダー 柴崎美枝

もう早く帰りたい。四日間キャンプファイヤーが始まるまでそう思っていた。食欲はない、手足は虫刺されではれない、はつきりいつてさんさんだった。しかし、キャンプファイヤーとその炎が今までの憂うつな気持ちを吹き飛ばしてくれた。

みんなで大きな輪になってやった大ウェーブ。自分の番を待ち構えてぱつと大きく跳ぶ。見事さと綺麗さに皆歓声をあげた。五〇〇人もの人達があつた。一つのことをつくりあげるというのとはとても感動するものがある。炎を見ていたらこの四日間の友達との出会い、そして触れ合いを振り返っていた。そうしたらもうすぐみんなと別れなければならぬ。事をしなげに考えてしまった。ランバダやちびまる子ちゃんですごく盛り上がり、気が付けば知らない人とも自然に手をつないで踊っていた。(このまま時が止まってくれれば……)と思っていた。

そして、最終日。昨日の思いを胸に別れの集いに臨んだ。「もう一生会えないかもしれないんだね。」そんな言葉が聞こえた。しかしその時の自分



郷土民芸お鷹ぼっぼに色づけを楽しむ



▲班担当の先生方と仲良かった友達と

はまだ信じられないでいた。というより気持ちにはもう麻痺していたのかもしれない。全員で肩を組んで最後のエール。そして今でも私の耳に響いている。(北海道から沖繩までの人達が出合つてそして同じ所で時を過ごし、たつた五日間で別れなければいけないなんて)と複雑な気持ちが爆発し思わず泣いてしまった。仲良かった友達と握手した時はいつまでも互いに手を握ったまままはなさず泣いていた。手を伸ばせば届きそうで、でももう届かなくて声だつて聞けない。顔だつて写真を見ているだけで。地図を見ればすぐ近いようにも現実はずいぶん遠い。現実を認

めるのが本当に悲しかった。今もときどき山形のどこかで会えるようなそんな気がしてならない。福井での友情をして友達はいつまでも私の心の中で笑顔でいるだろう。福井に行つて本当に良かった。何事もどんな小さなものでも自分の収穫だつたように思う。誰でもやれるような体験とは違つた体験が出来た。前の自分より今の自分が大きな目で日本をそして友達、自分をみつめられるようになったような気がする。この体験を生かし、出会いを大切に、これからのスポ少と私生活に役立てたい。

▲開会式の入場行進



紹介自慢

遊び感覚のなかで

田沢スポーツ少年団サッカー(平田町)

指導者 後藤 学

赤い屋根の校舎田沢小学校の生徒を対象に、昭和五十二年に田沢スポーツ少年団が結



▲みんなでの食事またのしいもの

成されました。結成当時は剣道の種目のみでしたが、昭和五十五年に卓球、サッカーそして六十年にミニバスケケットが誕生し、現在四種目で活動しています。全校生徒一二〇名の小規模校ですが、子どもたちのスポーツに取り組み姿勢、それを支える父母会、学校の協力体制はすばらしいものがあります。

私が子どもたちと一緒にサッカーボールを蹴りはじめた八年がたちます。スポーツ少年団の目的は、いろいろ言われていますが、自分の子どもたちに対する方針としては、「遊び感覚のなかでサッカーの魅力を知らせてもらう」ことを一番に活動をしてもらいます。当初は何もわからないままにただ「試合にどうしたら勝てるか」という指導者の変な意地と欲が練習にでてきて、技術ばかり指導していたように考えます。子供達に今の時期に一番身に付けなければならぬものは何か。「サッカーで言えばボール蹴りという遊びのなかで自由な発想で自分

スポーツに親しもう

山辺スポーツ少年団軟式テニス部(山辺町)

阿部 正 捷

軟式テニスは、山辺町でも歴史は古く、愛好者も多い。小学生から高齢者まで、幅広く親しまれている。そのような環境の中で、私たちの団は山辺小学校の、四・五・六年生を対象とし、例年四〇名以上の部員と、三名の指導員とで構成され、毎週日曜日、朝六時より九時まで活動している。「お願いします」の元気な挨拶で始まり、練習日が週一度のため基本の反復が主体とな

で考えて行動すること。また、一人一人大きな夢を持てるようサッカーの魅力と楽しさを覚えさせること」が指導者としての責任ではないかと考えます。

これからも指導者として子供達以上に大きな夢を持ちながら、子供達と一緒に赤い屋根の校舎のグラウンドでボールを追いかけたいと考えています。

そんな子供達も、中・高校の部活動では、すばらしい活躍をしてくれることが、私達指導員の喜びである。また当部は「白球に挑戦」をスローガンに、校内行事、町の催し、サークル活動、そしてリーダーズクラブ等々に、積極的に参画させています。このような体験を生かし、後輩の良き助言者となり、また将来指導員として、団活動へ復帰される事を願っているところです。



▲県スポーツ交流大会で

ミニバスケットを通じて

大江ミニバスケットボール少年団 (大江町)

指導者 荒木 理男

私たちの少年団は、昭和五十七年に結成され、練習は夏季週三日、冬季週二日、左沢小学校体育館で励んでいます。現在は、三年生以上六年生までの男女約六〇名が団員として活躍しています。

指導者は六名、活動の方針はスポーツ少年団らしく、お願ひします!! ありがとうございます!!



▲ラ・フランス交歓大会の開会式で

と大きな声で挨拶できるように、繰返し繰返し他団の模範となるよう指導していただきます。そのせいか、何事に対しても「自信が出てくる」ように、各大会においても常に上位に入賞できることを、指導している立場としても喜んでいられるところで、大会や年間

活動があるなかでも、地域社会の体育、スポーツの振興と発展をめざすべく、昭和六十二年の秋より「ラ・フランス大江ミニバスケットボール交歓大会」を実施しています。この大会は大江町の特産物「ラ・フランス」にあやかって、県内のいろいろなチームを大江町に招待し試合をして交流を深めることを目的に指

少林寺拳法? な〜んですか?

わかくさ少林寺拳法 (飯豊町)

神藤 孝弘

少林寺拳法と聞いて入団してくる子は、TVや映画のイメージを持っていて、現実には「こ、こんなはずでは」と戸惑うことも見られます。それは一般的に未普及で、充分理解されていないためです。指導上、地域の理解を得るための一環として空

伍拾い、公民館の掃除など奉仕活動を通して地域に根ざした活動をしています。現在の活動は、四年生から中学生まで一〇人、指導者二人で週二



▶ 拳禅一如 精神と肉体を鍛える

少林寺拳法は、他のスポーツに見られるゲーム的要素は取り入れていないので、面白さは感じられない事もありますが、できない技がやっとな

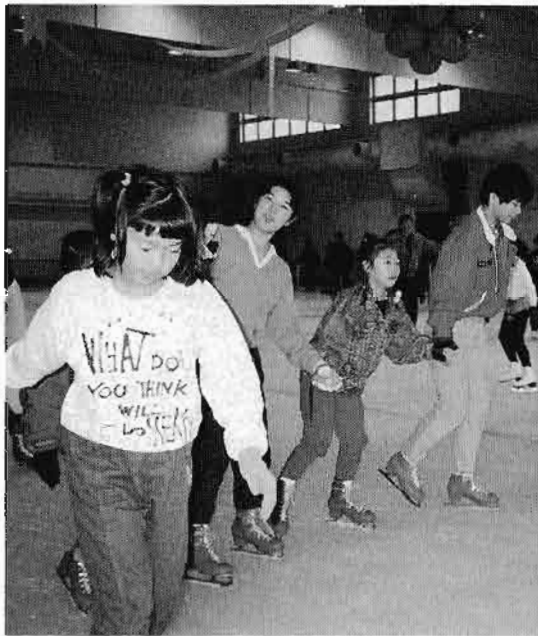
きた時の喜びは一入です。全て修得すべき道と考えます。ではバランスで、肉体と精神 共にかつ成長させる必要があり、一生懸命頑張るつもりが最終目的であり、生涯かけ

世代を越えたスポーツ活動を

榎引体操スポーツ少年団(榎引町)

事務局 銀 持 美 和

小・中・高一体のスポーツ少組織の中で、積極的に活動し学校制の体操スポーツ少年団として度々を越えて、地域の中でつながりを広げたスポーツを通しての交流の場にしてゆ



▲スケートに挑戦、手を取り合って

わかまちの指導者



榎岡ミニバスケットボールスポーツ少年団
指導者 平 敬太郎 (村山市)

彼は榎岡の老舗「平文茶舗」の若き経営者である。大変忙しい身であるが、地域活動には積極的である。中でもバスケットボール振興に関してはひとつの理論と情熱を持ち、指導にあたっている。「榎岡ミニバスケット」といえば、県内はもちろん県外のチームにもその存在を知られるようになった。これは彼の功績によるものが大きいのである。「榎岡ミニバスケット」は昭和58年度結成という若い団であるが、実績についていえば全国大会1回、東北大会5回出場と素晴らしい成績を残している。対外試合は年に数回行うが、その審判はもちろん、企画、運営まで一手に引き受けてやるスーパーマン的存在である。現在、団員は89人と多いが、一人ひとりを大切にする彼は「榎岡ミニバスケットだより」を発行したり、いろんな研修会に進んで参加したりと自己研鑽に努めている。そのため、団員はもちろん母集団からも全幅の信頼を得ているのである。



藤島剣道スポーツ少年団
丸山 鎮 (藤島町)

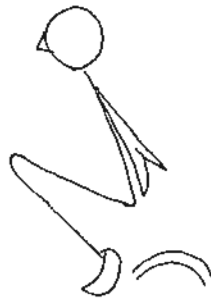
毎週3回夜1時間、小学校の体育館は剣道場に変る。メイン、ドー、コチーと元気な子供たちの発声。激しく打ち合う竹刀の音。「腹から気を出せ」「打つ時は大きく、強く、速く、軽やかに」と激励する指導者の大声が響く。練習を終えて面をとり、籠手はずした身体からは湯気がでている。「正座！黙想！」とキャプテンの号令。全員が目を閉じ、背筋を伸ばし、座禅と同じ様に両手を組む。静寂の一時が流れる。全員の気持が合った正座の姿は美しい。練習が厳しく、つらかった時ほどほっとした安堵とやり通せた喜びは大きい。全員で剣道の理念と剣道修練の心構えを唱和する。「礼！」とキャプテンの号令。「ありがとうございました。」と感謝の挨拶をし、「ご苦労さん」とねぎらいの言葉を交す。子供たちは部落毎に父兄の車で家路につく。6年生の当番が体育館の施錠をする。今夜は星空で冷える。明日は晴天、もうすぐ春だと呟く。

父兄のB会などを合わせると、まわっているのが現状です。一三〇名ほどの組織になって、しかし何より体操が好きです。近年、国体を盛り上げる機運が高まる中、体操競技もスポーツクラブなどが、ジュニアクラス(小学校から中学三年生まで)を中心に強化されてきています。そんな中で、指導者が皆仕事を他に持っている我団では練習時間がごく限られて写真は十二月九日に行われた親中、練習を見る会と、親子スポーツ教室とがあります。育成会としての活動も様々な、年間の大きなものの中に、練習を見る会と、親子スポーツ教室とがあります。写真が十二月九日に行われた親中、練習を見る会と、親子スポーツ教室とがあります。育成会としての活動も様々な、年間の大きなものの中に、練習を見る会と、親子スポーツ教室とがあります。育成会としての活動も様々な、年間の大きなものの中に、練習を見る会と、親子スポーツ教室とがあります。

子スポーツ教室で、今年はスケートに挑戦してみました。ヨチヨチ歩きの人から、手をとり合っの滑走と、皆それぞれ楽しんでいましたが、親子でいっしょにスポーツを楽しむ場所は、今後団員達により、主体的にスポーツに親しみ、健康な心身をつくってゆくためにも、全体的な活動の中で考えてゆきたいと考え

学習コーナー

まちがったトレーニングにより、スポーツ障害を引き起こす例がよくあります。その危険を含むトレーニング種目を紹介します。

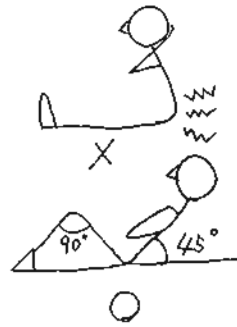


① うさぎ跳

膝を深く曲げ、びよんびよんと前進する運動で、基礎体力養成のため長く愛用されてきました。効果が少ない運動であるうえ、半月板損傷、オスグッド・シュラッテル氏病、ジャンパー膝、腓骨疲労骨折等のスポーツ障害を引き

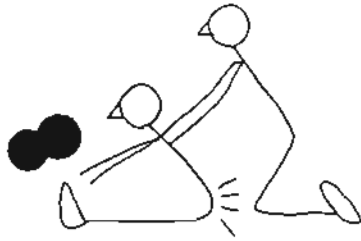
スポーツ障害を起ささないために

起こしやすい運動です。



② 膝を伸ばしたままの腹筋運動

腹筋を鍛えるトレーニング方法として活用されてきましたが、この運動は腰痛の最大の原因と考えられます。膝を九〇度に曲げ、腰をしつかり床につけ、上半身は四五度位あげる方法で腹筋を鍛えて下さい。



③ はずみをつける柔軟運動

はずみをつけたり、人に背中を押してもらった柔軟体操は、筋肉や骨に無理な負担がかかり、腰痛や肉ばなれなどをおこす原因となります。

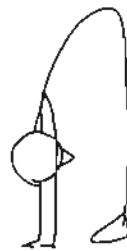
自分の体の柔らかさの範囲内の「心地よい」と感じるところで一〇秒から三〇秒程度

静止させる方法でなら柔軟度を高め、スポーツ障害の予防にもなります。



④ ヨガ・プラウ

頭と背を床につけて、足は伸ばして顔の前におろす運動。限界をこえて脊柱を伸ばす場合が多く、脊椎を痛めやすく、中高年齢者では卒中の原因にもなりやすい。



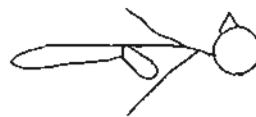
⑤ トウタッチ

脊柱を安定させている靭帯（脊椎の後縦靭帯）を痛め腰痛の原因となりやすい。



⑦ ニューストレッチ

正座から、後ろに倒れ、背を床につける柔軟体操は、膝関節を必要以上に曲げるので、靭帯を痛めやすい。



⑥ スクワット

膝を深く曲げたり、そのままアヒルのように歩く運動は、膝の外側半月板を痛める危険があります。

スポーツ障害は、能力以上の運動や強度の負荷、それに伴う疲労から発生しやすい。同一学年の子供達でも、個人個人によって体格・運動能力等かなりの差があります。スポーツ少年団の指導者は、画一的なトレーニング方法だけでなく、子供一人ひとりの運動能力・発達段階にあったトレーニング内容を工夫することも必要ではないでしょうか。

平成2年度山形県スポーツ少年団登録状況

平成3.3.31現在

	団 数 (団)			団 員 (人)			指 導 者						計
	更 新	新 規	計	男	女	計	男			女			
							更 新	新 規	計	更 新	新 規	計	
総 数	910	25	935	20,201	10,728	30,929	4,241	1,083	5,324	326	145	471	5,795
東南村山支部	241	5	246	5,101	2,141	7,242	868	294	1,162	52	33	85	1,247
山形市	147	2	149	3,294	1,333	4,627	536	214	750	38	24	62	812
上山市	25	0	25	480	205	685	89	17	106	8	1	9	115
天童市	47	2	49	872	359	1,231	160	51	211	4	4	8	219
山辺町	15	1	16	250	144	394	49	9	58	2	4	6	64
中山町	7	0	7	205	100	305	34	3	37	0	0	0	37
西村山支部	66	2	68	1,432	704	2,136	303	56	359	16	4	20	379
寒河江市	25	1	26	605	241	846	131	21	152	3	1	4	156
河北町	18	1	19	432	256	688	78	18	94	7	1	8	102
西川町	5	0	5	77	57	134	18	6	24	0	0	0	24
朝日町	11	0	11	188	99	287	50	7	57	3	1	4	61
大江町	7	0	7	130	51	181	28	4	32	3	1	4	36
北村山支部	84	1	85	2,108	945	3,053	395	91	486	22	4	26	512
村山市	19	0	19	511	115	626	101	16	117	0	0	0	117
東根市	29	0	29	704	372	1,076	109	32	141	13	1	14	155
尾花沢市	28	1	29	676	351	1,027	158	29	187	6	3	9	196
大石田町	8	0	8	217	107	324	27	14	41	3	0	3	44
最上支部	78	5	73	1,932	1,215	3,147	414	143	557	28	14	42	599
新庄市	29	1	30	651	366	1,017	105	49	154	8	6	14	168
金山町	7	1	8	220	149	369	67	11	78	0	3	3	81
最上町	12	2	14	263	162	425	68	32	100	5	2	7	107
舟形町	4	0	4	193	129	322	52	9	61	2	1	3	64
真室川町	8	1	9	210	116	326	42	17	59	4	0	4	63
大蔵村	4	0	4	75	70	145	17	4	21	1	0	1	22
鮭川村	9	0	9	143	82	225	29	8	37	5	0	5	42
戸沢村	5	0	5	177	141	318	34	13	47	3	2	5	52
東南置賜支部	95	4	99	2,164	992	3,156	570	94	664	59	29	88	752
米沢市	43	2	45	1,003	323	1,326	222	47	269	23	8	31	300
南陽市	20	1	21	449	272	721	121	13	134	15	14	29	163
高島町	12	0	12	357	212	569	117	16	133	5	5	10	143
川西町	20	1	21	355	185	540	110	18	128	16	2	18	146
西置賜支部	73	4	77	1,598	914	2,512	429	163	592	34	26	60	652
長井市	27	2	29	702	254	956	138	31	169	13	10	23	192
小国町	8	2	10	203	155	358	36	49	85	1	7	8	93
白鷹町	27	0	27	528	380	908	199	75	274	14	8	22	296
飯豊町	11	0	11	165	125	290	56	8	64	6	1	7	71
庄内支部	263	14	277	5,866	3,817	9,683	1,262	242	1,504	115	35	150	1,654
鶴岡市	77	0	77	1,551	977	2,528	344	62	406	36	9	45	451
立川町	9	0	9	158	101	259	39	5	44	3	1	4	48
余目町	17	1	18	335	173	508	50	15	65	1	0	1	66
藤島町	9	0	9	233	113	346	44	5	49	7	1	8	57
羽黒町	11	0	11	267	144	411	69	13	82	1	1	2	84
朝日村	9	0	9	198	156	354	78	7	85	8	5	13	98
櫛引町	12	3	15	300	188	488	59	20	79	6	5	11	90
三川町	5	0	5	175	146	321	67	12	79	3	0	3	82
温海町	10	0	10	208	132	340	38	10	48	6	1	7	55
酒田市	81	0	81	1,670	1,103	2,773	310	63	373	33	9	42	415
遊佐町	4	10	289	219	508	61	6	67	1	1	2	69	
八幡町	8	0	8	144	110	254	26	9	35	2	0	2	37
松山町	8	0	8	187	138	325	50	9	59	5	1	6	65
平田町	3	0	3	151	117	268	27	6	33	3	1	4	37

表彰



平成二年度 日本スポーツ少年団顕彰

●表彰市区町村スポーツ少年団
川西町スポーツ少年団
●表彰指導者
五十嵐正恒(松山町) 木村久雄(山形市)
小口周市(白鷹町) 小松茂美(新庄市)

平成二年度山形県 スポーツ少年団表彰

●功勞者
田川房雄(山形市) 高梨俊昭(河北町)
佐藤幸吉(新庄市) 大城敬親(長井市)
本間清治(鶴岡市) 難波文雄(朝日村)
加藤忠八(上市市) 加藤太尾(花沢市)
三浦俊悦(川西町) 鈴木太郎(白鷹町)
加藤勉(酒田市)

●優良団
滝山小女子バレーボールスポーツ少年団 (山形市)
山十小クローバース野球部 (山形市)
チェリー寺津スポーツ少年団 (天童市)
鶴岡剣道スポーツ少年団 (村山市)
沼田バドミントンスポーツ少年団 (新庄市)
米沢柔道連盟スポーツ少年団 (米沢市)
荒砥地区野球スポーツ少年団 (白鷹町)
岩浜野球スポーツ少年団 (酒田市)
第五学区ミニバスケットボールスポーツ少年団 (鶴岡市)

スポーツ少年団 二〇年以上指導者表彰

●山形市
志田次郎(銚川剣友会) 長岡耕司()
丹野一雄() 斎藤宏()
荒井定市() 大宮光也()
深瀬仁郎() 鈴木新助(千歳剣道)
早坂盛夫() 工藤貞次郎()
有海長一(南沼原柔道)
栗原政男() 高橋市郎()
鈴木仙四郎() 鈴木肇夫()
朝倉輝雄() 佐藤章夫()
若井宗一(いちよう少年剣士会)
柴田孝助() 赤井良平()

萩野光也() 皆川有二()
高橋義孝() 井上桂二()
井谷正由(チビッコボクシング)
樋口栄五郎(尚武会剣道)

●朝日町
石井嘉久男(大谷ジュニア)
佐藤忠也() 広谷初吉()
佐藤鏡一()

●山辺町
鈴木辰雄(山辺女子柔道)
後藤輝男(山辺柔道) 後藤貞夫()
佐藤徳四郎(山辺鶴岡剣道)

●朝日町
白田進() 白田富彦()
佐藤富好() 五十嵐義一(大谷剣道)
村山征一() 阿部健一郎()

●村山市
平山公樹(袖崎遠藤好一)
阿部千里()

●尾花沢市
細谷信雄(沢剣道教室)
外塚信夫(大久保)
森谷健(おもたか柔道)

●大石田町
板垣規雄(大石田柔道)
森秀雄(大石田剣友会)

●川西町
斎藤修一(吉島地区柔道)
須藤清一() 井上充(まいつる)

近暗男() 鈴木健次()
寒河江勇造(中郡剣道)
●長井市
菊地嘉内(長井柔道)

●鶴岡市
村田久志(稲穂サッカークラブ)
渡部孝(第五学区バスケット)
坂本敬(加茂柔道)

●羽黒町
佐藤次良(広瀬剣道)
原田憲(羽黒二小剣道)

●藤島町
太田辰吉(渡野剣道) 斎藤又一()
●余目町
梅本経義(青葉剣道) 高梨政則()

●酒田市
吉村栄吉(霞田陸上) 星川八郎(黒森剣道)
田村民雄() 長谷川光夫(塚成剣道)
古家兵弥(塚成バスケット)

池田重一(南遊佐剣道)
平野純一(松蔭剣道) 佐藤檢章(浜田剣道)
斎藤功(亀城剣道) 阿部保次()
兵藤重弥(本橋剣道) 本間純一()

●松山町
佐藤勉(松山第一剣道)
高橋恒(松山第一剣道)

●八幡町
前田生也(修道館) 佐藤光男()
戸田孝志()

市町村の動き 南陽市

今年度は新規一団（宮内バスケットボール）を加え、単位団数二十一団、団員数七百二十一名、指導者数百六十三名で競技団体・学校・地域関係等との連絡を密にし、市内外交流試合・交流活動に取り組んでいます。

市本部事業として、団員対象に一流指導者を迎えての実

技指導講習会（今年度少年バレーボール教室）、指導者対象として指導者講習会（今年度テーピング講習会）を開催しています。

さらに、団員・指導者の登録推進を単位団と共にPRしているため、毎年増加しています。



▲気合を込めて



▲べにばな国体へ一人でも多くの選手が出場できるように

平成3年度山形県スポーツ少年団主要事業日程

	事業名	期日	会場
大会関係	・第13回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会県予選会	6月23日、6月30日	山形市
	・第27回山形県スポーツ少年大会	7月28日～7月30日	中山新庄、米沢市
	・全日本少年サッカー大会県予選会	6月16日、6月30日	天童、山形市
	・山形県少年少女スポーツ交流大会	9月29日	山形市
	・第22回東北ブロックスポーツ少年大会	7月31日～8月3日	秋田、東京
	・第27回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	7月27日～7月31日	青森、福島
	・第15回全日本少年サッカー大会	7月29日～8月3日	東京
	・第13回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	7月26日～7月28日	東北、福島
	・第13回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東北II大会	7月31日～8月1日	福島
	・第13回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月15日～8月18日	福島
研修関係	・第11回東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	7月26日～7月29日	岩手、山形
	・サッカー	12月14日～12月15日	岩手
	・柔道	3月28日～3月30日	岩手
	・ミニバスケット	3月26日～3月29日	東京
	・卓球	3月29日～3月31日	東京
	・剣道	6月15日～6月16日	西村、山形
	・認定指導員養成講習会（県内5地区）	11月2日～11月3日	西村、山形
	・体力テスト判定員講習会	6月22日～6月23日	西村、山形
	・県ジュニアリーダーズスクール（県内2ヶ所）	11月30日～12月1日	西村、山形
	・県指導者研修会	12月7日～12月8日	西村、山形
交流会	・市町村スポ少スポ安事務担当者研修会	10月27日	最上、東山形
	・育成母集団研修会	10/5～6、19～20	最上、東山形
	・中央リーダーズスクール（シニア）	12月10日	山形市
	・育成指導員認定研修会	3月5日～3月6日	山形市
	・認定指導員養成講習会	5月～2月	最上、庄内
	・公認体力テスト指導員養成講習会	8/17～20、3/26～29	秋田、東京
	・地域交流促進事業	11月2日～11月3日	秋田、東京
	・第18回日独スポーツ少年団同時交流	11月24日～11月27日	山形、東京
	・県スポーツ少年団表彰	11月16日～11月18日	山形、東京
	・県スポーツ少年団代議員会	5月～2月	西村山、西置賜
会議	・第18回日独スポーツ少年団同時交流	7月25日～7月31日	鶴岡市
	・県スポーツ少年団第1回本部員会	3月5日	山形市
	・県スポーツ少年団第2回本部員会	5月23日	山形市
	・県スポーツ少年団専門委員会	6月6日	山形市
	・県スポーツ少年団指導者連絡協議会	2月21日	山形市
	・全国指導者競技会	6月10日、10月22日	山形市
	・東北ブロック指導者研究競技会	7/12～13、3/5～6	東山形
	・北海道、東北ブロック会議	12月10日～12月11日	山形市
		2月18日～2月19日	山形市